

科目名	ベンチャーキャピタル	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			法律学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	Venture Capital	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	いしかわ まさはる	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	石川 雅敏	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	ベンチャービジネスおよびベンチャー企業の特徴を理解する				
到達目標	ベンチャービジネスの起業、および、ベンチャー企業の経営に求められる基礎的知識を学びます。 この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1) ベンチャービジネスを起業するためのポイント 2) ビジネスプランをどのように作るか？ 3) ベンチャー企業の特徴				
授業概要	ベンチャー企業の事例研究を通して、ベンチャー企業に関する基礎的知識を学びます。				
授業計画					
第1回	ベンチャー企業とは何か？ ケース： オイシックスドット大地				
第2回	経営理念とは何か？ ケース： サウスウエスト航空				
第3回	新しいビジネスアイデアをどのように見つけるのか？ ケース： ジャパン・テイッシュ・エンジニアリング				
第4回	仮説の検証とは何か？ ケース： WHILL				
第5回	ビジネスモデルをどのように創出するのか？ ケース： アスクル				
第6回	最良の経営チームをどのように構築するのか？ ケース： ワイズセラピューテイクス				
第7回	ライバルとどのように差別化するか？ ケース： カーブス				
第8回	資金調達をどのようにするか？ ケース： グリー				
第9回	ビジネスプランをどのように作成するか？				
第10回	支援者にはどのような人がいるのか？ ケース： ジンズ				
第11回	キャッシュフローをいかに厳密に管理するか？ ケース： インクス				
第12回	大企業といかにネットワークを強めるか？ ケース： ユーグレナ				
第13回	株式公開・M&Aをいかに成し遂げるか？ ケース： サイバーダイナ				
第14回	ビジネスプランコンテストで優勝するためには？ ケース： エコオロギ				
第15回	リスク・リターンの適正な活力ある社会の構築へ・まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 教科書の該当箇所には必ず目を通す。分からない用語は調べてノートにまとめる。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通し、経済の動きに親しむ。(0.5時間程度)				
履修条件	遅刻は5分以内まで。それ以上は出席と認めません。				
受講のルール	いかなる理由でも5回以上欠席したら試験は受けられません。履修取消しです。				

	<p>毎回質問を出します。必ず出席カードに答えを記入して提出下さい。 私語・スマホは厳禁です。</p>
テキスト	<p>「ベンチャー経営論」 長谷川博和 東洋経済新報社</p>
参考文献・資料	<p>講義資料 (Power Point 資料) はポータルサイトに掲載します。 各自でダウンロードして、PC またはタブレットで閲覧しながら、講義を聞いてください。</p>
成績評価の方法	<p>毎回の質問に対する回答の提出 (50%)、定期試験 (50%)</p> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>毎週水曜日・金曜日 13:00～15:00</p> <p>*これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	<p>自身の会社経験や日本経済新聞の記事も用いて、ビジネス事例を説明します。</p>
学生へのメッセージ	<p>ベンチャー企業がどのように起業し、資本調達を行い、出口戦略を練っているかは興味深いテーマです。一緒にベンチャー企業の特徴を学びましょう。</p>